

# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2017～2018年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日

例会場：パレスホテル大宮

例会日：月曜日12:30～13:30

会 長 高橋 秀樹  
幹 事 染谷 義一  
公共イメージ  
向上委員長 石丸 主憲

第2543例会 2018/ 1/15

発行日 2018/ 1/22

週報当番 石丸 主憲

## 会長あいさつ

会長 高橋 秀樹



皆さんこんにちは。1月誕生日の皆さんおめでとうございませう。また本日イニシエーションスピーチをされる方は思う存分ご自身をPRしてください。

### 第9回「ロータリーの特別行事」について

#### －その③ 3月「水と衛生」月間－

さて、今日の“ロータリーあれこれ”は引き続き、「ロータリーの特別行事」についてお話させていただきます。

6つの重点分野のうち、3月は「水と衛生」月間に位置付けられています。

この分野に於いては4つの課題があります。

1. 衛生的なトイレや水設備が利用できない人が25億人いる。
  2. きれいな飲み水が利用できない人が7億4800万人いる。
  3. 衛生設備や安全な水がないことで毎日1400万の子供が命を落としている。
  4. アフリカの僻地に住む女性たちの中には毎日6時間かけて水を汲みにいかなければならない人々がいる。
- ということです。

この課題を解決する方法としては、

1. 下水タンクに汚水が流れる水洗式トイレを設置して衛生設備を改善する。
  2. 水質を改善するために塩素錠剤や日光耐久性のあるペットボトルなど低コストの解決策を提供する。
  3. 石鹸で手を洗うというような教育を行い、正しい衛生習慣を推進する。  
※石鹸で手を洗うことで下痢を最高35%減らすことができる。
  4. 家庭で安全な飲み水が得られるように浄水フィルターや太陽熱消毒のような手段を提供する。
  5. 地下水を汲み上げる井戸の設置や、雨水を溜めて飲み水にするシステムを導入する。
- といったことが考えられるかと思います。

現地政府の承認の取付けから始まり、大掛かりな資機材の手配、各種設備の設置など、大変な手間と莫大な費用がかかることもあります。我がクラブのグローバル補助金事業としてできることもあると思います。どういう事業が出来るかを是非お考えいただきたいと思います。

最後に2月19日のIMへの全員出席を是非ともお願いいたします。

ロータリー家族とともに行動し ともに感動する  
(55周年 全員で前進する ー 全・進 ー)

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



## 幹事報告



幹事 染谷義一

「幹事報告をさせていただきます」

- ◆本日の例会はイニシエーションスピーチです。スピーカーの皆様、思う存分の自己ピーアールをお願いいたします。
- ◆再度のお願いでございますが、ご案内の通り本年、清水恒信ガバナー補佐を輩出しております。実行委員長は林先生にお願いしております。2/19のIM、大勢のご参加をお願いいたします。
- ◆まことに残念ですが上田謙二会員がご退会となりました。ご報告いたします。
- ◆大宮北東RC、パストガバナー、森田さんの奥様をご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。
- ◆例会場入口に設置されておりますレターボックスを増設致しました。吉田暎治会員のご厚意によるものです。大変ありがとうございました。

## 委員長報告



インターアクト委員会  
委員長 高橋真貴子

- ◆ホームステイ受入れのお願いについて

## 米山記念奨学生からのお知らせ



シャキヤ・スラクシャさん

- \*第1回ネワー・フード・フェスティバルのお誘い  
1/28(日) 18:30~21:00  
会場：池上会館ホール

## 誕生祝い 1月生まれ



親睦委員会  
委員長 井上勝美

次郎丸雄希(9日)、横溝一樹(13日)、森田孝和(19日)、中村雅之(20日)、大竹庄藏(21日)、久保浩(26日)、吉田奉行(28日)、新見和男(29日) 会員



## ロータリーの友



公共イメージ向上委員会  
委員 青木 陽

皆様、御手許にロータリーの友誌はございますでしょうか、1月号の解説をさせていただきます。

### 横読みのP3

こちらRI会長メッセージと題しまして、多様性はロータリーの強みと書いてあります。要約しますと、多様性について課題が2つございます。一つ目は会員の年齢層の問題、二つ目が女性会員が全体の21%を超えた程度で女性会員の参加が少ない、という問題点があるということです。こちらの2つの解決をはかるためにクラブで多様性をしっかり築いて行き多様性を深めていって、若い有能な会員を入会させるということが書いてあります。

### 続いてP8

職業奉仕について考えるということで、茅ヶ崎湘南RC 元RI理事 松宮さんの記事がございませう。こちらの内容に関しては職業奉仕とはロータリーの親睦を自覚させるものだということが書いてあります。

ロータリーの親睦の原則について述べている記事がP11にあります。5つございまして、一つ目が1業種1会員制、二つ目が毎回1回の例会への出席、三つ目が年度毎交代制、四つ目が機能分担としての役務、5つ目に会費同額、こちらは私自身も原則を忘れずに、又これをもとにロータリーの親睦を図って参りたいと思います。

P12 私が実践する・考える職業奉仕と題して、記事がございませう。こちらは人が育つための支援、職業奉仕、内容は割愛させていただきますが全ての人

に伝わるメディアを目指してそれぞれのRCのクラブの方が研究をしております。

**P26** 歩こう！ーウォーキング退会に携わってのタイトルで、小倉東RCでは10月7～8日に掛けて行橋～別府100キロウォークをされました記事があります。

**縦読み P22** ロータリーアットワークでは埼玉での地域活動のご紹介をさせていただきます。

**P24** 会員による例会場のビフォー・アフター、例会場の内装を会員有志で改修したという内容が書かれています。

**P29** 越谷北クラブの思い立ったら即行動！西内ひろさん講演会、こちらは獨協大学にて第30回インターアクト年次大会を実施しました。という記事です。

簡単ではございますが以上で終わりにしたいと思えます。有り難うございました。

## イニシエーションスピーチ

あらい よしと

荒井理人 会員



皆様、改めましてこんにちは。

昨年11月に、藤嶋さんの紹介で入会させていただきました、荒井理人と申します。桜木町で設計事務所を生業としております。

ロータリーに、入会してから先輩方に顔と名前が一致しないと度々言われるので、今日は私の名前を覚えてほしいと思えます。

お前ですよ！これですよ！荒井理人！と、覚えてください。宜しくお願いします。

私は、昭和45年生まれで、産れたのは母の実家、三重県紀伊長島町というところなんです。

当時、弊社会長（父親）が東京の設計事務所から、50年前には珍しくRC（鉄筋コンクリート）造4階建ての建物を三重県に建築する設計士で行っておりました。私の母親は、その紀伊長島町の料亭の5人兄弟の末娘でした。

私は、そこで生まれたわけですが、今にして思えばまあ、そんな感じかなと想像が出来ます。

無事その案件が終わると、3人は浦和に住んだようです。今の浦和高校の正門の近くの長屋だと聞いております。親から聞いた話では、トタン屋根の長屋のようなところに住んでいたとの事でした。そうこうしているうちに、上尾に家を見て、私は上尾で育ちました。

ただ、父は仕事に日々邁進していたようで、私は父との記憶がほとんどありません。こちらも、今にして思えばまあ、そんな感じかなと想像が出来ます。なので、母親と妹と3人で暮らしていましたが、食うや食わずと大変苦労しました。それでも、大学を卒業することができゼネコンに就職し、しばらくすると父から一緒にやってくれないかと声がかかりました。

一緒に仕事をし何年か仕事をするうちに、仕事を継ぐ気があるかときかれ、「あります」と、答えると「あと、一週間だけきてやるからしっかりやれ」と、言われました。

当時、大変な思いをしましたし色々悩みました。

今、ここにいる皆様ともっと早く知り合っていたら、あんなに思い悩むことは無かったのかも思えます。

それでも最近は、神様は越えられない試練は与えないと思い、日々頑張るようにしています。

現在のアライ設計は、社是を「100年先の街に住む人に愛される建築を創造する」としています。

これは、建物を100年もたせるという意味ではなく、弊社の設計した建物により廻りに住む人や街が変わっていくような建物を設計していくということです。

個人の話をしめすと、妻が1人と、息子が1人おります。子供は現在7歳で上小に住んでおります。趣味はゴルフとマリンスポーツ全般です。

以前、ロータリーに誘われている時は、嫌いでいでしょうが無かったのですが、今は皆様のお仲間にしていただき、本当によかったと思っております。

色々お伝えしましたが、何とかやってこれているのも、父が礎を築いてくれたからだと思えます。

引き続き、皆様のご指導ご鞭撻をお願いしたく存じます。

本日お配りしましたリーフレットは、昨年4月に作成したものです。御高覧いただけましたら幸いです。

ご静聴ありがとうございました。

いしまる かずのり

石丸主憲 会員



皆さんこんにちは。公共イメージ向上委員会でお世話になっております石丸と申します。

小木曾部門委員長のもと、週報のポスティング



やロータリーの友の解説等を始めとした広報関係を担当しております。

仕事は司法書士をしております。詳細は配布してあるパンフレットをご確認ください。出身は佐賀県、父の仕事の関係で転々としていましたが、今は埼玉に落ち着いています。

学校を卒業してハウスメーカーに勤めましたが、会社の状況が思わしくないときに入社し、営業所閉鎖・縮小等でそこでも転々とし1年半で退社。その後電気設備工事の部材メーカーに転職しました。転職した会社はとても優良企業だったのですがあまり魅力を感じず、ちょっとしたきっかけで司法書士を目指すようになり、そこから10年。なんとか合格できましたが、ひたすら仕事と勉強だけの暗黒の20代を過ごしました。

なので暗黒の時代を抜け出してからは、やりたいことをやると決め、仕事では開業して現在8期目をむかえ、おかげさまで順調にやれております。

趣味も色々ありますが、今はキックボクシングをやっております。今は流行もあって女性や年配の方も多くいますが、40を過ぎてガッツリやるスポーツではないのかなと感じています。それでも同世代でガッツリやってる奇特な方も多くいて、そういう人たちが集まる大会もありますので気が向いたらエントリーして試合したりもしています。試合に出るときは体重を落とし、ピーク時からだと10キロほど体重が落ちました。体脂肪率も一桁になりました。周りからはどこに向かっているの？蹴って蹴られて何が楽しいの？と聞かれますが、その答えは私にもわかりません・・・こういう奇特な私ですが、今後ともよろしく願いいたします。

うちやま なおき

内山直樹 会員



みずほ銀行の内山です。三光ソフランの高橋会長のご紹介で一昨年4月より当ロータリーのメンバーに入れて頂きました。

私は兵庫県神戸市で生まれ西宮市で育ちました。村松さんが同じ西宮ご出身とのこと、陰ながら親近感を感じております。

小・中・高と野球ばかりで大学では陸上、ホッケー部に所属。甲子園球場に最も近い高校で、先輩は「近くて遠い甲子園」というNHKのドキュメンタリーかなにかに出演したと聞いています。部員12名と小体のため練習密度があがった結果、兵庫県大会でベスト8までに行きました。

銀行員生活30年となりますが、銀行員としての人格形成は振り出しの2ヶ店が土台となりましたので、その頃のお話をしたいと思います。

昭和62年に第一勧業銀行の梅田支店に入り社会人生活を迎えました。銀行はバブル入り口で不動産融資が盛んでした。

梅田支店は御堂筋の入り口にあり、私は周辺の中小企業の融資担当として営業活動をしておりました。

まる4年梅田支店で鍛えられ、芝支店に転勤となりました。芝支店でも融資担当で約50社100億円の与信管理と支店業績向上のミッションを受けました。

この梅田・芝支店で鍛えられた7年が銀行員としての成長の土台となったと思います。20代後半から30代ですね。三つ子の魂百までといいますが、銀行員は入口7年が重要なのでしょうか、、、？

家族は妻と子供二人、妻も同じ西宮出身ですが、子供は二人とも東京で生まれましたので、家では妻とは関西弁、子供とは標準語と、自然と使い分けて話しています。これが不思議で妻と標準語では話せないんですね。趣味はランニングとゴルフです。去年11月の埼玉国際に出場しましたが、途中で足がつったりして何とかゴールしましたが結構大変でした。沿道から「頑張って」とか声をかけられるのですが、逆に「ここであきらめるな」、また「足が痛いのは気のせい」なんて言われると背中が押されるのですね。

確かに足が痛いのは本当に錯覚なんです。歩き出すと痛みが無くなるものなんです。銀行にいる部下に実績をあげさせようと「がんばれ」といつてきましたが、最近は言い方を変えています。「つらいのは錯覚」「仕事できないのは脳のいたずら」とか、、、

昨年2月にラグビーの平尾誠二さんの話を伺う機会がありました。去年8月に亡くなりましたので亡くなる半年前です。相当痩せてられて「痩せましたね」と言うと「そんなことないですよ、昔から体重変わってないですよ」なんておっしゃっていました。

ところが、最近、IPS細胞でノーベル賞を受賞した山中信也教授と平尾さんの「友情」という本を読みました。じつは講演してもらった時期より8ヶ月前にはがんの宣告を受け、半年持たないといわれていたことが分かりました。つまり、余命半年といわれながら奇跡的にその死期が延び、我々の前で講演されたということがあとで分かり、言葉が出ませんでした。「痩せましたね」など言わなければよかったと、反省しました。

平尾さんの話は「求心力、人を育て組織を動かす」というテーマでした。理不尽な環境で徹底的に鍛えられた組織は強靱になる、同様に理不尽な環境で育った人間も強くなる、という具合の話でした。ラグビー名門の伏見工業時代の話が中心でしたが、とにかく鬼監督に無茶苦茶な指導を受けたが、結果日本一の強いラグビー部になっていたという話です。練習中にスパイクで踏まれ顔を十二針を縫い、翌日の試合は出場しなくていいと、高をくくっていたらスタメンでだされ、試合中出血だったので代えてくれると思っていたら、試合終了まで出さされたとか、他にもこの類の話がありました。そんな連続の3年間だったようです。

マラソンとも共通しますが、原始的ではありませんが人間も野生の部分があり、そこを引き出して伸ばしていく。逃げ場のない理不尽な環境におき、究極まで追い込み、自力ではいあがるよう誘導していく、その繰り返しで人間の野生というか、本当の底力が発揮され、自力でその場を乗り越える術がみつくと、一言で言うと人間力がアップする、ということかと思えます。

ロータリーの皆さまは比較的そういうアナログがお好きな方が多いのではないのでしょうか。何が起るかわからない世の中で自力で家族を守り、自力で生き抜く力はやはり人間の持つ野性・感性に行き着くような気がします。われわれ年代が遠慮なく若い人を鍛えていく必要があるのではないのでしょうか。

つらつらまとまりのない話にお付き合いいただきありがとうございます。

えびす たいら

胡 平 会員



皆様こんにちは。胡 平と申します。三光ソフラン(株)に入社したのは、昭和62年2月です。私は今年2月で60歳になりますので、31年経ち今ここにいます。高橋誠一会長には鍛えて頂き感謝しております。

私の名前の胡という苗字ですが、大学進学のために上京して以来『エビス』と言われた事は殆どありません。『こ』とか名前が『平』なので『こ・へい』が多かったです。他には『胡麻』の“胡”、『胡瓜』の『胡』、『胡蝶蘭』の『胡』などありますが、エビス・胡と読むのだと覚えて頂ければ嬉しいです。

私が生まれたのは、広島県でして、市内で広島

駅と平和記念公園原爆ドームとの間に胡町があります。えびす通り商店街があったり、胡子神社もありますから、広島県の人には『エビス』と読める人は多くいます。出身地は現在の廿日市市(はつかいちし)大野町で、すぐ前に日本三景の一つ安芸の宮島があります。その海で良く遊びました。後ろは山があり、よく松茸を採りに父と行った事を思い出します。川では鮎を取ったり、白魚とかうなぎも良く捕まえてました。高校を卒業して大学で、建築学を勉強して、現場監督になろうと思っていました。趣味はゴルフですが、学生の際は中学、高校、大学と部活でテニスをやってまして、結構うまかったですヨ！

ロータリークラブに入会させて頂いて8カ月位になりますが今自分が思っているロータリアンのイメージは、世界の平和の為に、又世の中が良くなる様に、秘かに尽力する『あしながおじさん』の様な人達かな？と思っていますから、自分で出来る、世の中が良くなる為のサポートをこの大宮西ロータリークラブを通じて出来ればいいなと思っていますので宜しくお願いします。